

Create a new town

新しいまちづくりに挑む!

奥河内創生会では、以下の重点施策をご提案します。

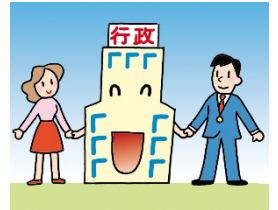
1. 観光振興 (Market Kawachinagano)

- 世界遺産の高野山に通じる高野街道、および、有形文化財(歴史的建造物等)・無形文化財(だんじり祭り等)を整備・振興します。
- 駅前に、ビジネスホテルなどの宿泊施設を設立します。
- 国内外に向け観光マーケティングを行い、とくに高齢者や外国人観光客を誘致します。
- 世界中の人々と意思疎通が図れるように、幼児から大人まで市民の英語教育を強化します。



2. 市の構造改革 (Change the Structure of Kawachinagano)

- 市からのトップダウンではなく、市民に案を募り、市民参加型のボトムアップで河内長野を運営します。
- 市のトップが、営業統括本部長として、河内長野の特産品(例えば、天野酒、小山田の桃、天見の南天、つまようじ、すだれなど)を世界中にマーケットします。
- 駅前市有地などを開発し、固定資産税で税収を増加させます。
- PFI (Private Finance Initiative)を用い、民間に公共サービスを委託します。



3. 人口減少への歯止め (Stop the Decrease in the Population of Kawachinagano)

- 若者の定住を促進するべく、和の伝統を重んじたおしゃれなまちづくりを実施します。
- 親子での定住を促進するべく、二世帯住宅の建築および購入に財政的援助を行います。
- 次世代を担う適齢期の男女に対して、市内外を問わず、交流の場を提供します。
- 妊娠・出産・子育てに対して、財政的援助および人的援助を行います。



4. 交流人口の増加 (Increase the Nonresident Population of Kawachinagano)

- 企業を誘致するべく、高速道路へのバイパスを実現し、物流問題や通勤問題を克服します。
- 学生を誘致するべく、小学校から大学まで、河内長野にあるすべての学校の教育水準を上げます。
- 買い物客を呼び込むべく、魅力あふれた駅前商店街を復興します。
- 観光客を増加するべく、観光拠点としての地位を確立します。



5. 持続可能な社会の確立 (Establish a Sustainable Society in Kawachinagano)

- 循環型社会の確立を目指し、リサイクル・リユース等の資源有効利用を促進します。
- 低炭素社会の確立を目指し、豊富な水資源と高低差の多い地勢を利用した小水力発電を推進します。
- 自然共生社会の確立を目指し、自然と調和した公園整備を行い、市民の健康づくりを増進します。
- 安心・安全な社会の確立を目指し、防犯・防災を強化するための自主組織づくり、および、空き家対策を支援します。



河内長野市の現状

高齢者比率	現在: 29.70% (大阪府下 33 市(9 町 1 村を除く)の中で第 1 位) (平成 27 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口に基づく; 全国平均 25.90%) 2040 年: 44.4% (大阪府下 33 市の中で第 1 位) (国立社会保障・人口問題研究所<平成 25 年 3 月推計>に基づく; 全国平均 36.1%) (高齢者比率は、65 歳以上の高齢者が全人口に占める割合)
少子比率	現在: 11.27% (大阪府下 33 市の中で第 1 位) (平成 27 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口に基づく; 全国平均 12.93%) 2040 年: 7.9% (大阪府下 33 市の中で第 1 位) (国立社会保障・人口問題研究所<平成 25 年 3 月推計>に基づく; 全国平均 10.0%) (少子比率は、15 歳未満の子供が全人口に占める割合)
若年女性人口減少率 (地方自治体の「削減可能性」の指標)	52.7% (大阪府下 33 市の中で第 1 位) (国立社会保障・人口問題研究所<平成 25 年 3 月推計>に基づく) 59.8% (大阪府下 33 市の中で第 1 位) (日本創成会議推計に基づく) (国立社会保障・人口問題研究所推計は、人口の純移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計であり、日本創成会議推計は、同データを使用して、2010~2015 年の純移動率が縮小しないと仮定した推計) (若年女性人口減少率は、20~39 歳の女性人口が 2010~2040 年において減少する割合)
昼夜間人口比率	82.2% (大阪府下 33 市の中で第 31 位) (平成 22 年国勢調査に基づく) (昼夜間人口比率は、昼間人口が夜間人口に占める割合) で、都心部では高く、ベッドタウンでは低い傾向を示すので、河内長野市が典型的なベッドタウンであることを示す)

故郷河内長野を変えます!!

島田智明氏は、今度こそ



発行 奥河内創生会 編集部

2015 年 12 月: 第 7 号

〒586-0018 河内長野市千代田南町 8-37-101

TEL/FAX: (0721)56-3339

E-mail: change_kawachinagano@hotmail.com

URL: <http://www.kawachinagano.org>

FB: <http://facebook.com/change.kawachinagano>



プロフィール

1969年12月2日: 河内長野で生誕
 1976年: 千代田台保育園 卒園
 1982年: 小山田小学校を経て楠小学校 卒業
 1988年: 大阪星光学院中・高等学校 卒業
 1993年: 京都大学工学部情報工学科 卒業
 1995年: 東京大学理学系情報科学専攻 (理学修士)
 A.T.カーニー等の会社員経験を経て、
 2000年: シンガポール国立大学MBA (経営学修士)
 2005年: フランスINSEAD PhD (経営学博士)
 2007年: 神戸大学経営学研究科准教授
 2012年: 河内長野市長選挙にて、有効票の41%の支持
 2015年: 奈良県王寺町地方創生本部顧問
 趣味: マラソン、登山、名所旧跡巡り
 信条: 有志有途

地方自治体に
経営の考えを!

奥河内創生会

Challenge
 変革への挑戦!